学校番号	３０２６

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版　ON! 1（音楽之友社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「歌唱」「器楽」「鑑賞」「創作」の４つの分野を、年間を通して学習します。学習の到達度は、授業で配布するワークシート、取り組み態度、実技テストで評価します。様々なジャンルの音楽に触れ、豊かな感性を養うとともに、自分の得意な音楽の形を見つけてください。音楽が、生涯にかけて皆さんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

⑴曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。

⑵自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。

⑶主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけようとする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	【歌唱】	校歌 翼をください 小さな空	a. 曲想を感じ取り、イメージを持って合唱するために必要な歌唱の技能(発声、発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方)を身につけている。 b.音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図を持っている。 c. 歌う喜びを味わい、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組んでいる。	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取
	【器楽】	ギターの演奏	a.アンサンブルするために必要である、他パートを聴く技能や表現技術を身につけている。 b.旋律とハーモニーの特徴を捉え、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、表現を工夫することができる。 c.楽器の基礎的な奏法に関心を持ち、アンサンブルで演奏する学習に主体的に取り組んでいる。	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取
	【鑑賞】	バロック～近現代の作品 西洋音楽史	a.音楽を形作っている要素を理解できているか。 b.音楽を形作っている要素を知覚、感受しながら楽曲に対する理解を深め、その楽曲の良さや美しさを創造的に味わっている。 c.各時代・作曲家とその音楽文化に関心を持ち、主体的に鑑賞の学習に取り組むことができる。	ワークシート スライド 発表	ワークシート スライド 発表	観察
	【創作】	リズムアンサンブルの創作・演奏	a.創作に必要な技能である読譜力と作譜力を身につけている。 b.旋律、リズムの特徴や効果を感受しながら作品をイメージし、創作していくことに表現意図を持っている。 c.創作することに関心を持ち、創作活動に意欲的に取り組んでいる。	演奏の聴取	演奏の聴取	観察
2	【歌唱】	合唱曲(三部合唱) ミュージカル作品(原語)	a.歌唱するために必要な技能(発声、発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方)を身につけている。 b.音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、原語での歌詞を歌唱する際の言葉のリズムの違いを感じ取り、どのように歌うか表現意図を持って取り組んでいる。 c:歌う喜びを味わい、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組んでいる。	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取
	【器楽】	三線の演奏	a.アンサンブルするために必要である、他パートを聴く技能や表現技術を身につけ、総合的・創造的に表現している。 b.旋律とハーモニーの特徴を捉え、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、表現を工夫することができる。 c.楽器の基礎的な奏法に関心を持ち、アンサンブルで演奏する学習に主体的に取り組んでいる。	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取
	【鑑賞】	ミュージカル作品	a.音楽を形作っている要素を理解できているか。 b.音楽を形作っている要素を知覚、感受しながら楽曲に対する理解を深め、その楽曲の良さや美しさを創造的に味わっている。 c.各時代・作曲家とその音楽文化に関心を持ち、主体的に鑑賞の学習に取り組むことができる。	ワークシート	ワークシート	観察
	【創作】	学年末発表に向けて	a.創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につけている。 b.音楽を形作っている要素を知覚・感受しながら音楽表現を工夫し、どのように演奏するか表現意図を持っている。 c.自分の演奏を作品として発表する喜びを味わい、主体的に表現している。	ワークシート 演奏の聴取	演奏の聴取	観察
3	【歌唱】 【器楽】 【鑑賞】 【創作】	コンサートのコンセプトを決め、コンサートを企画し実施する。	a.創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につけている。 b.音楽を形作っている要素を知覚・感受しながら音楽表現を工夫し、どのように演奏するか表現意図を持っている。 c.綿密に準備した自分の演奏を発表する喜びを味わい、主体的に表現している。	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度